

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス・保育所等訪問支援ピコルア		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年2月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ダウン症児および神経可塑性・MBL (Movement Based Learning) に特化した専門的療育の提供	<ul style="list-style-type: none"> ・脳と身体をつなぐリハビリや粗大運動など、科学的根拠に基づいたプログラムの実践 ・小集団活動を通じた社会性向上のアプローチ 	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の療育知見やMBLメソッドの継続的なアップデート
2	「通所（放デイ）」と「訪問（保育所等訪問）」の双方からのシームレスな支援	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での「個別の様子」と、集団生活（学校）での「集団の様子」を総合的に把握した支援 ・学校の先生方への具体的で実践しやすい支援方法の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との連携ハブ機能の強化
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性の高い支援手法（MBL等）における、スタッフ間のスキル・経験値の均一化 	<p>専門性の高いメソッド（神経可塑性・MBL）を導入しているため、習得に時間を要し、スタッフ間で支援技術に差が生じやすい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社内研修の定例化と、外部研修への積極的な参加支援 ・訪問支援の役割や効果を圖例へより分かりやすく伝える資料の作成
2	保護者支援に対する時間とリソースの確保	<p>専門的な療育ニーズや医療的ケアに関する相談が多く、日々の送迎時や連絡帳だけでは十分な相談時間を確保しきれない場合がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会やペアレント・トレーニング等の開催による集団的支援の拡充
3			